

西条酒粕燃料協会基礎デザイン

～酒都大学広島構想 Part3～

広島大学 交通工学研究室

宇野	元浩	矢舗	麻美	村山	直輝
岡	英紀	金本	和也	播磨	総一
		住吉	祐志	高本	圭吾

はじめに

東広島市西条町とは・・・

- 広島大学の移転決定以来大きく発展し、高度産業が集積するとともに学術研究施設も点在している**学園都市**である
- 灘（兵庫県）、伏見（京都府）に並ぶ**三大醸造地「酒都」**である
- 公共交通整備の遅れから、自動車保有率が非常に高く、過度に**自動車に依存した都市形態**をとっている



西条の独自性をもって、西条に根ざした課題を解決するとともに、酒の都西条のさらなる活性化を目指す

「酒都大学広島構想」の提案



基本コンセプトの提案(2006)

酒教育・酒研究の推進

お酒の効能・成分・環境の
総合的研究を行う機関の形成

「知」

「動」

「楽」

学生主導TMAの設立

学内レンタサイクル・通学相乗・
飲み会送迎システムの構築

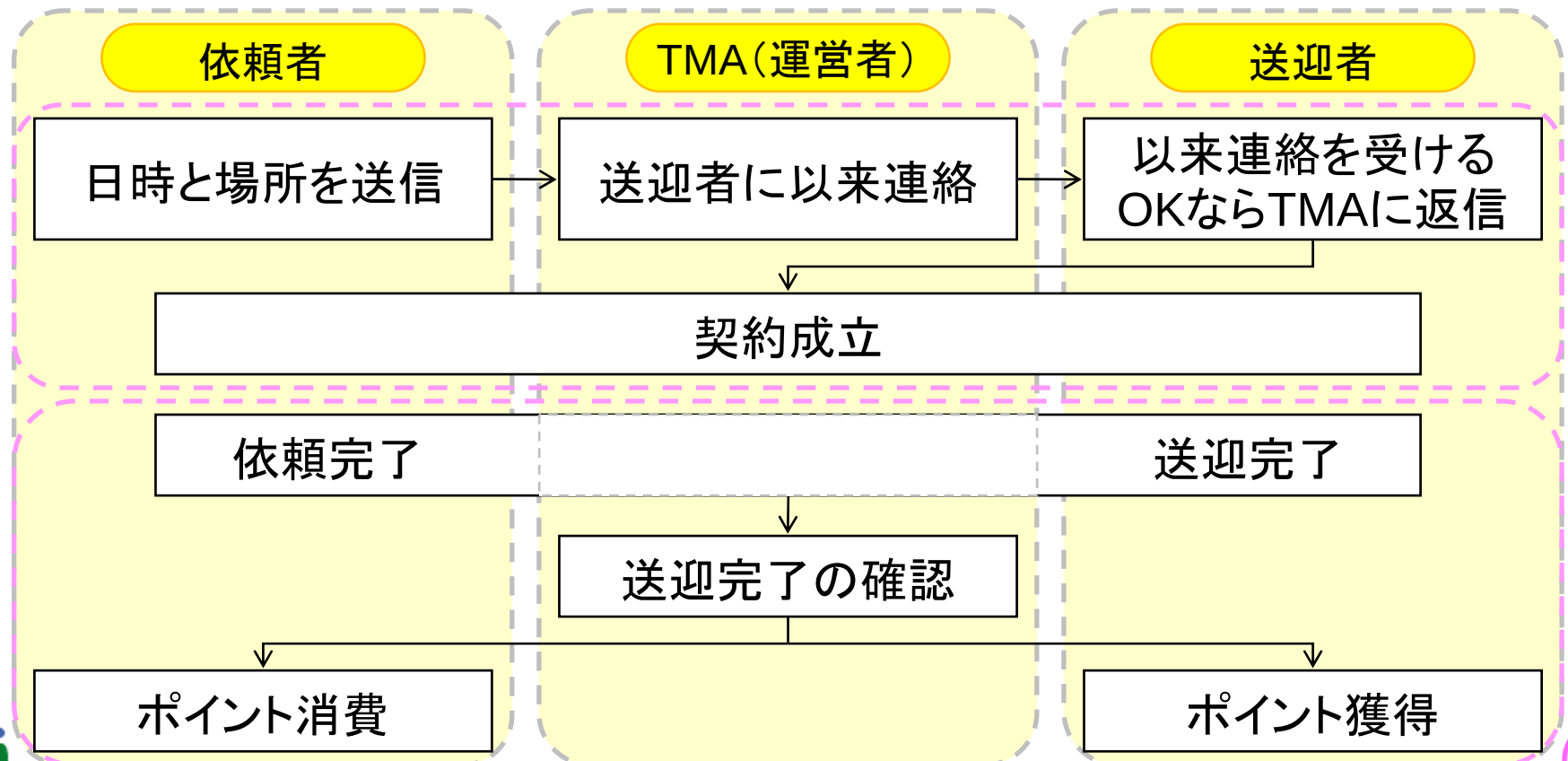
観光システムの構築

学園都市と酒都の両方の強み
を活かした観光産業の活性化



飲み会送迎システムの実現化に向けて(2007)

- 基本コンセプトに基づき、「動」の部分掘り下げて検討
- 飲み会送迎システム「パピット」を考案、具体的システムを提案
- 飲酒が引き起こす重大な社会問題に対するひとつの解決策を酒都大学広島の学生自らが検討し推進するという点に意義





地域志向型循環社会の構築に向けて(2008)

- 基本コンセプトで示した「知」「動」「楽」3要素に総合的に取り組んでいくための枠組みづくりを検討



酒粕によるバイオ燃料の生成と、この利活用による
地域志向型循環社会の構築を提案

酒粕とは・・・

- 日本酒の醸造工程において、もろみを圧縮した後に残る白色の固形物
- 近年の日本酒需要の減少傾向に伴い、その副産物たる酒粕の生産量も減少傾向
- 主な利用方法は、肥料・飼料、漬物、お菓子、甘酒・粕汁など



地域志向型循環社会の構築に向けて(2008)

- 地域志向型循環システムの構築を提案し、副産物たる酒粕まで取り込んだ総合的な地域活性化策を提供

広島大学

研究所

蔵元

バイオ燃料の生成

西条酒粕燃料協会

酒・燃料の消費

酒・酒粕の製造



西条酒粕燃料協会

- 西条酒粕燃料協会は、システムが円滑な稼働を可能にすることを試みる

- 酒粕燃料の需要予測
- 需要と供給の管理
- 利用用途の選定

酒粕のマネジメント

酒の消費促進

- 酒情報の発信によるPR活動（：「知」）
- 飲み会送迎システムとの連動（：「動」）
- 里帰り観光による需要創出（：「楽」）

地域の活性化

循環システム

- 情報提供をはじめとする各種施策によって住民の参加を促す

参加率の向上



ご清聴ありがとうございました。

